

令和7年度 調布市立第六中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
○自ら学び、考える生徒 ○命を大切にする生徒 ○何ごともやりぬく生徒	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像	
○自ら学び、考える生徒 → 主体的・創造的思考力の育成 ○命を大切にする生徒 → 道德性、人権尊重の精神の醸成 ○何ごともやりぬく生徒 → 自己実現能力の育成	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	本校は明るく伸びやかな生徒が多く、素直で知的好奇心が旺盛である。学校は、生徒たちの未来を見据えた高い理想を掲げ、「まなびの森で創る 未来につながる授業」をテーマに個別最適な学びと協働的な学びを一体的に展開し、多様な学びを体験させ、どんな困難にも仲間と共に立ち向かう勇気と知性を身に付けさせることが必要である。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした 育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	① ICT 活用とプリント教材を通して、相手に伝えるための語彙力の基礎・基本を習得し、「知識・技能」の定着を図る。 ② 個別な学びと協働的な学びを選択したり、ICT 活用や言語活動を通し意欲・関心を高めたりしながら、言語力を深め「思考・判断・表現」を育成する。 ③ 授業の「振り返りシート」や単元ごとの「主体的な学習シート」を活用して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。	① 毎回の授業で基礎・基本の既習漢字と新出漢字の復習を繰り返し行うとともに、基礎文法を習得し、語彙力を向上させ「知識・技能」の定着を図る。 ② 言語活動を通して課題を発見し、解決する言葉の力を育む。個別な学びと協働的な学びを選択し、作文・短歌・俳句作りなどの表現活動を通して、言葉の感性を磨き、思考力・表現力を培う。 ③ 授業ごとに「気付いたこと、今後に生かしたいこと」を振り返り、単元ごとの「主体的な学習シート」で学習目標を決め、分かったことと今後の課題を確認しながら「主体的に学習に取り組む態度」を身に付ける。
社会	① 現代社会の諸課題について自分事として捉え、課題解決に向けて探求していく力を育成する。 ② さまざまな場面で選択する機会を設け、一人一人が興味関心や特性に応じた学習を主体的に進める力を育成する。 ③ 「振り返りシート」を活用し、自分の学びを振り返った上で、粘り強く学習に取り組む力を育成する。	① 「個人で思考→意見の共有→個人でまとめ」のサイクルを繰り返し、様々な意見や資料にふれながら自らの意見をまとめていく時間を設定する。 ② 課題提出の形を極力制限せず、自由な形で取り組むことができるようにする。単元や一単位時間の中で自由進度学習を導入し、生徒それぞれが自分に合った形で学習に取り組めるように環境を整備する。 ③ 各自がさらに良い振り返りを行えるように、振り返りシートをお互いに共有し、生徒同士でもお互いにアドバイスができるような時間を設定していく。
数学	① 個別最適な ICT 教材を用いて、算数～数学の教材をスパイラルに取り組むことによって、基礎的・基本的な「知識・技能」の定着を図る。 ② 数学を発見する楽しさや考えを交流させる楽しさを育成する。 ③ 「振り返りシート」や「単元テスト」、「定期考査」などの振り返りを通して、学習を自己調整する能力を育成する。	① ICT 教材のドリルパークなどで、既習事項を出題する。間違えた問題や苦手な問題については、スパイラルに取り組むことができるように設定し出題する。 ② 対話を重視した授業展開を意図的に設定し、班やグループで伝えあう活動を行う。 ③ 振り返りシートに自身の課題などを記入し、自己の学びに向き合うことができるようにする。どのような手順を用いて学ぶかを自己判断し、実践する時間を特に演習の時間に設定する。
理科	① 生徒の興味関心を高める教材および実験を充実・活用させ、基礎的・基本的な「知識・技能」の定着を図る。 ② 個別最適な学び、協働的な学びの一体化を目指し、自由進度学習を活用しながら「思考力・判断力・表現力」を育成する。 ③ 振り返りシートを活用し、「計画的に粘り強く学習に取り組む態度」を育成する。	① 実験や観察等の体験活動を通して科学的思考力の向上を図るとともに、単元テストや小テストを活用し、基礎・基本の定着を図る。 ② 授業や実験の中で課題を設定し、小グループ等で話し合いや学び合いに取り組ませ、ICT を活用して、発表したり表現したりする機会を増やし、考えの交流をさせる。 ③ 授業の中で振り返りシートを活用し、個々の理解度を教員、生徒双方で把握することで、こちらからのフィードバックも適宜行いながら、生徒がより主体的に取り組めるようにする。

音楽	① 毎時間の振り返りにより「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。 ② 生徒の興味関心を引き出し、音楽の基礎的な「知識・技能」を定着させる。 ③ 考えや意見を効率的に共有し、協働的な学びを推進する。	① 毎回の授業でワークシートを用いた振り返りを行い、生徒自身が自らの学びを振り返るようにする。 ② デジタル教科書を活用し、楽譜、音源の提示を行うことで、より分かりやすく「知識・技能」を身につけられるようにする。 ③ ICT 機器を活用し、考えや意見の共有を円滑に行うことができるようにする。
美術	① 主体的に学習に取り組む態度 ② 造形的な見方・考え方を働かせた思考・判断・表現力 ③ 造形的な見方・考え方を働かせた知識・技能	① 毎授業の成果を文章や画像で蓄積し、自己調整能力をはぐくむ。 ② ICT でイメージを収集したり、参考にするなどして、豊かな発想をはぐくむ。 ③ 机間指導や、ワークシートを通じた個別の指導を丁寧に行う。
保健体育	① 個別最適な学習を基に、個々に課題を設定し、基本的な知識・技能の定着を図る。 ② 課題を発見し、その課題を解決するための思考力、判断力、表現力の育成 ③ 主体的、協働的に学習に取り組む態度の育成	① 個々の能力に応じた課題を設定し、その課題を達成するために必要な取り組み方やポイントを提示しながら、段階的に知識・技能を習得できるようにする。 ② ICT 機器を積極的に活用し、客観的に自分の動きを捉えられるようにする。また教え合いの場から自身の課題に気づく力や課題解決能力を伸ばす。 ③ 運動が苦手な生徒でも達成できる課題設定の工夫を行う。また生徒同士がお互いに教え合う時間を設定し、共働的に取り組む場面を多く設定する。
技術・家庭	【技術】 ① 主体的に学習に取り組む態度の育成 ② 技術の見方・考え方を働かせた問題解決能力の育成 【家庭】 ① 主体的、対話的に学ぶ姿勢。 ② 生活の中の課題発見とその解決能力の向上	【技術】 ① 自ら他者と関わろうとしたり、自身の考えを深めようとしたりするため、ICT 機器の活用を工夫して取り入れる。 ② 自分事として捉えながら学習に取り組むための教材選定。 【家庭】 ① 自分たちで見通しをもって学習に臨めるようにし、思考力や判断力を身に付けさせる。 ② ICT 教材や工夫した教材を準備し、個に応じた授業内容にする。
外国語 (英語)	① ICT 教材を積極的に活用し、主体的に問題解決に取り組む力 ② 既習事項を活用して自分のことを表現する力 ③ 他者と協働して物事に取り組み、伝え方を工夫しながら自分の考えを伝える力	① デジタル教科書の活用による個別最適化の実現。ミライシード等学習アプリケーションを活用する。 ② 既習事項の定着を図り、目的・場面・状況に応じた表現ができるようにしていく。 ③ ペアワーク、グループワークを充実させ、伝える喜びや伝わる喜びを実感できるようにしていく。
道徳科	① 道徳的な判断力 ② 心情 ③ 実践意欲 ④ 態度	① 題材を通して、多面的・多角的に考え、生徒同士、生徒と教員間での対話を充実させ身につけさせる。 ② 題材を通して、疑似体験による自分の思いを自己との対話で獲得し、他者の考えに触れ深めていく。 ③ ワークシートを活用し、自分の経験から考えたことを、対話を通して深めたり、改めたりすることで実践意欲を高める。 ④ ワークシートを活用し、振り返りの時間を必ず設定し、自分事として考え、普段の生活に生かしていこうとする態度を養う。